

\*\*\*\*\* メリークリスマス 1996 \*\*\*\*\*

本年もまた終わりに近づき、皆様のご健康を祈りつつ、慎んでクリスマスと一足早い新年のご挨拶を申し上げます。

今年のビッグイベントは何と言っても、一味が満40歳を向かえたことです。（由紀子の番もすぐまわってくる。）そこで、何か期するものがあつたかというところでもありませんでした。（39歳と40歳で、大きな差があるはずない。ですよ。。。）一味は5月と6月を国際交流基金からフェローシップをもらって、東京で過ごしました。振り返ってみると、2か月日本で過ごすのは過去16年間で最も長い滞在だと気がつき、改めて驚きました。仕事の方では昨年の暮れに始まった「日本語教師のためのコンピュータ活用方法」（月刊「日本語」）の連載が無事終わり、今はそれを修正、加筆しながら、同じものの英語版を書いています。それが終わったところで、英文と日本語を合わせて1冊の本にして出版したいと考えています。それから、来年は今の内容を外国語教育一般に広げて、WWWのページを作る計画をしています。

由紀子はアイオワ大の3年目に入りました、仕事の上では大きな変化がない一年でしたが、相変わらずいそがしいです。（これは本人の超まじめな性格を反映しているのですが。）でも、ずっとかかわっていた初級用の日本語の教科書の1冊目が終わり、来年中には出版される予定です。六月にはテキサス州オースチンにあるテキサス大で日本語の先生のための2週間の集中講座を担当しました。現在は教科書の2冊目と研究論文を執筆中です。また、オーストラリアの大学から来てほしいという要請を受けていますが、まだ決めていません。

先月の感謝祭の休日にはイリノイ時代からの友達二人と他にも何人か仲間を呼んで、久しぶりの賑やかなパーティをしました。しばらく、人を呼ぶことがなかったので、新鮮に感じました。この中の二人、スティーブと真理子さんは我々のアメリカ生活の中で最も古い友人です。スティーブと一緒に修士課程をした仲間ですし、真理子さんは同じ時期に日本語のアシスタントをしました。そして、我々四人は905 S.Race Streetという一つ屋根の下で暮らした仲間でした。スティーブも今年40歳になり、一味と一緒に「昔はウィスキーをたくさん飲んで二日酔いなあ」などと昔話に花を咲かせたり、みんなで新しいスタートレックの映画を見に行ったりし、思い出深い一週間となりました。（こういうことをするから年を取ったと言われるのかな。でも、楽しいから仕方がないと思いますが。）それから、もう一人のイリノイからの友達のさゆりさん、ミシガン大の先生で由紀子のいい友達のゆきさん、そして、パデュー大の講師の駅田

さん、我々も含めて「もう若くなく、仕事を持っている、子供がまだいない」という共通点を持った人間達の集まりとなりました。とてもリラックスできるいい感謝祭となり、また集まろうということで楽しい休日は終了しました。

昨年有名になった甥の直紀は今年は来ませんでした。（...）ですから、今年のインディアナでの夏は比較的静かなものになりました。しかし、一味は5月6月と東京にいて一味の実家と直紀君の家はほんの数軒離れているだけです。バスケットボールの練習をかなり申し込まれました。（毎日午後4時ごろになると恐怖のドリブルの音が近づいて来るんです。逃げようとはしたのですが...）直紀のドリブルは上手になりました。

チビタンとミーチャンはどちらも健康で、一味と一緒にアイオワに行きます。相変らず、仲はいいときと悪いときがあります。（根本的には、悪いのです。ミーがたまに怒らないだけです。）この二匹の写真は由紀子のWWW ホームページで見られます。

(<http://www.uiowa.edu/~japanese/hatasa.html>)

皆様どうぞよいクリスマスとお正月をお迎えください。私達は17日に東京に向けて発ち、クリスマスは宇和島、お正月は東京という予定です。時間があったら御連絡ください。

一味 & 由紀子

\*\*\*\*\* 頌春 1997年 \*\*\*\*\*